

事業所名

放課後等デイサービス まなびの広場 ホープ

支援プログラム

作成日

8年

4月

1日

法人（事業所）理念		事業所を利用する者及び通所給付決定保護者等の意思及び人格を尊重し、放課後等デイサービスにおける適切な支援・サービスを提供する。									
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>通所支援計画に基づき、利用者の心身の状況等に応じて、その者の支援を適切に行うとともに、放課後等デイサービスの提供が漫然かつ画一的なものにならないよう配慮する。</li> <li>放課後等デイサービスガイドライン等に基づく5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）の視点をすべて含めた総合的な支援を提供する。</li> </ul>									
営業時間		08 09	時	30 00	分から	17 18	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	健康・体調管理、食事、排泄、移動の介助及びADL向上にむけた支援を行う。生活リズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得を狙った支援を行う。健康面に関しては緊急時の関係医療機関との連携を常時行っている。									
	運動・感覚	個々では関係専門職からの指示でのマッサージや簡易なりハビリを行う。集団活動の中で様々な「遊び」を通じて、運動の要素を取り入れた支援を行う。「楽しみ」も交えた活動を意識的に行い、内的や外的、様々な感覚も養い獲得できるような支援を行う。姿勢と運動、動作の向上や動作の補助的手段の活用、保有する感覚の総合的な活用を支援していく。									
	認知・行動	それぞれが行う活動の説明を事前に行い、見通しをたてたスケジュール管理を意識的に行い、自らが理解し行動できるような支援を行う。不得手な事にも介助を行い、行動の領域を増やしていき新しい動作・行動の獲得が出来るような支援に取り組む。空間、時間、数等の概念形成の習得ができるような支援を行う。									
	言語 コミュニケーション	様々なツールを利用し、意思表示しやすい状況をつくりそれぞれにあった言語及び動作でのコミュニケーションを図っていける支援を行う。他者との関わりを意識し、他者との関わりの中で獲得したコミュニケーション、意思伝達手段を尊重し積極的に支援に取り入れていく。コミュニケーションの基礎的能力の向上、手段の選択を活用できるような支援を行う。									
	人間関係 社会性	外出など積極的に社会の中での活動を取り入れ、様々な経験をしてもらい新たな人間関係の構築や社会性を身につけられるような支援を提供し実践する。また、公共交通機関など、社会資源の活用も積極的に取り入れ活動を行う。他者との関わり（人間関係）の形成、集団への参加意欲の向上を狙いとした支援を行う。									
家族支援		各家庭に応じた家族支援（入浴や送迎、お預かりなど）を行い、利用者本人やご家族が安心して安全に生活できる支援を積極的に行っていく。				移行支援		各地域でのイベント参加や関係強化を図る事により学校や自宅、事業所地域への社会参加を積極的に行っていく。			
地域支援・地域連携		関係機関との協力を積極的に図ると共に、地域活動への積極的な参加を行う。また、関係機関以外でも積極的に連携強化を図り地域支援の役割の一環を担う。				職員の質の向上		様々なテーマでの意見交換や勉強会を事業所内で定期的に行う。専門性の高い知識の獲得などは外部研修に積極的に参加し事業所内へ還元する研修システムを構築している。			
主な行事等		誕生日会、初詣外出、節分豆まき、ひな祭り、お花見、こいのぼり作成、七夕祭り、夏祭り、母の日、父の日、敬老の日制作活動、ハロウィーンパーティー、クリスマスパーティー いちご狩り、バーベキュー、餅つき、動植物園外出等									